

平成 17 年 5 月 13 日

# TD 勉強会 情報 167

1. アメリカンオンライン ピンポイント正式立ち上げ
2. GDS 代替 G2 全米旅行者業界批判に反論
3. マカオ アジアの LCC ハブ空港になるか
4. インドで LCC が雨後の筍 客室乗務員にモデル登場
5. ラーストミニット（英） サーバー買収へ
6. ユナイテッド航空 組合 スト突入示唆
7. その他のニュース



Randy Canale, a district president of the International Association of Machinists and Aerospace Workers, outside the federal courthouse in Chicago where a United bankruptcy court hearing took place on Wednesday. (関連記事 P-8 参照)

## 1. AOL Officially Launches Pinpoint Travel Web Sites

### アメリカンオンライン ピンポイント正式立ち上げ



America Online は、テストを行って来た、エアーとホテルのインベントリーのための検索サイト Pinpoint Travel Web サイト [www.pinpointtravel.com](http://www.pinpointtravel.com) を、本格的カットオーバーに漕ぎ着けた。検索エンジンには、AOL が少数株を保有している Kayak を使用している。このサイトの立ち上げは、AOL が会員サービス (“walled garden” membership service) のサイトから、インターネット・リテリングへの転換を強調するものである。

AOL のスポークスマンによると、Pinpoint は、予約は取り扱わず、ユーザーをサプライヤーやオンライン旅行社サイトに取り次ぐシステムを採用している。間もなく、これに、片道便とレンタカーの検索機能が加わる。

Pinpoint のビジネスモデルは、コストパークリック・ベースで収入を得るモデルで、従って、ユーザーを予約サイトに取り次ぐたびに、料金を徴収する様になっている。

所謂メタサーチエンジンの多くは、オンライン旅行社から旅行をコモディティー化すると批判され、サプライヤーダイレクトコネクトと見なされているが、Pinpoint には、多くの提携サプライヤーと、大手オンライン旅行社では Onetravel.com と Opodo が参加している。

サイトの特徴的機能としては、以下がある。

- |                 |  |
|-----------------|--|
| Rapport ボックス    | 検索範囲を狭める効果がある。   |
| Remember It ツール | 過去の検索を記憶させておくツール。そして、それらのインスタントメッセージングには AIM (AOL Instant Messenger) が使用されている。 |
| Travel Profile  | 旅行者のプリファレンスに従った検索結果に仕立てる。  |

Pinpoint は、自身の Web サイトに加えて、AOL の一般検索エンジンにも組み込まれている。例えば、“cheap flights”とか“San Francisco hotels”と検索すると、Pinpoint Travel の検索ボックスがポップアップする。また、[www.aol.com](http://www.aol.com) や AOL のサブクリションサービス上にエントリーポイントが設けられている。

Pinpoint の立ち上げは、AOL の旅行オフリングを拡大すると共に、旅行検索分野に於

ける広告収入を増加させる目的を持っている。 AOL Travel を動かしている Travelocity ( [www.aoltravel.com](http://www.aoltravel.com) または AOL のキーワード“ travel ”でアクセスできる ) は、航空、レンタカー、ホテル、パッケージツアー、クルーズのエクスクルーシブな予約エンジンであるが、エクスクルーシブ契約は、これで終了する。

DTW, 5/9/2005

## 2. G2 Refutes ASTA's Claims As “Baseless”

### GDS 代替 G2 全米旅行者業界批判に反論

C2 SwitchWorks は、ASTA のオーナーシップとテクノロジーに対する批判( 情報 166, P-6 ) は、全く根拠のないものだと、以下の通り反論している。

#### オーナーシップ

G2 SwitchWorks は、CEO の Alex Zoghlin と社員達で、マジョリティー株式を所有している。 \$10m ( 11 億円 ) を出資している Northwest Venture Partners と Texas Pacific Group Ventures には、G2 の取締役会の 2 議席を渡している。 トランザクション料金の前払いの見返りに、今回メジャー6社に提供するの株式保有の機会、マイノリティー株にしか過ぎない。 彼等は、トランザクション料金の前払いをしているだけで、G2 に、資金を提供しているわけではないので、取締役会にも加われない。



( AA, America West, CO, DL, NW の 5 社が、航空券 8 百万冊 ( 年間 ) のトランザクション料金の前払いに依拠している。 後から参加した UA のトランザクション数は、明らかにされていない。 US 航空は、G2 に参加しているが、この前払い制度には加わっていない。 )

#### テクノロジー

G2 は、今日、殆どの旅行社が使用している、ミッドオフィスやバックオフィスの自動会計システムや、レポートシステムと完全に連動する。

なお、ASTA の G2 批判の動きには、ARTA ( Association of Retail Travel Agents ) と BTC ( Business Travel Coalition ) の業界団体も同調している。

### 3. Asian Airlines Place Bets On Macao

#### マカオ アジアの LCC ハブ空港になるか

南アジアでは、LCC が勢力を伸ばしている。 Virgin Blue は、豪州の国内線の 1/3 のシェアを押さえている。 マレーシアの AirAsia は、同国国内線で、略同じ程度のシェアを有している。 シンガポールは、この地域で初めてのローコストの空港ターミナルを建設しつつある。

しかし、北アジアでは、日本を除いて、規制緩和のテンポがゆっくりで、LCC は未だ育っていない。 中国は、三大キャリア（国際、東方、南方）の保護に熱心であるが、一方で、徐々にではあるが、幾つかの同国航空会社に、低運賃国内線運営を許可し始めている。 香港では、最近設立された Oasis Airline が、今年末には、低コストの長距離路線を開設すると言われている。

マカオには、既に AirAsia（マ）や Tiger Airways（シ）を含む LCC が、乗り入れを開始しており、彼等は、マカオを北アジアの LCC ハブ空港化する勢いだ。 マカオ経済は、昨年、外資にカジノ運営を解放して以来急成長している。 ツーリストの入島も +40% 増の 1,670 万人（マカオ人口の 36 倍）に達している。 しかしながら、航空機による入島者は、370 万人と低い数値に止まっている。 これは、独占キャリアの Air Macao が、マカオが保有している 42 の二国間航空協定の権利を使い切れていないからだ。 Air Macao には、1995 年以降 25 年間の排他的運営権が与えられているが、香港及び台湾以外に 3 路線しか運航出来ていない。

マカオ国際空港の空港長 John Chan は、マカオを LCC のハブ空港とする決意を、2003 年 6 月に固めているが、そうなる迄には、数々の問題をクリアーにしなければならないと語っている。

目的を達成する為に、Air Macao の 51% 株主の、中国国営 China National Aviation Corporation は、航空会社 3 社と、Air Macao が保有している路線権の貸与（sub-concession agreement）に関する協議を行っている。 Virgin Blue とは、年末迄に合意が出来ると期待されている他、振興の Wow! Macao や Golden Dragon が、1 年以内に、同様の権益を取得すると見られている。 これ等 3 社との合意がまとまれば、マカオの LCC 便比率は、2 年以内には、現行の 5% から 15% に拡大するだろう。

マカオ空港は、自身を、ロンドンの Stansted 空港と比較するのが好んでいる。中国 Pearl River Delta( PRD )への、コストの安いエントリーポイントとなる事を欲している。事実、マカオの着陸料は、香港よりも 30% ~ 35%も低廉な料金となっている。その香港は、IATA によれば、中国本土の空港よりも 50%安くなっていると言う。

マカオ空港がチャレンジしなければならない問題は、空港インフラ整備と、ライバル空港との競争である。10年前に建設されたマカオ空港は、3年間で、600万人の利用客を見込んで作られている。現在貨物機の5つの新駐機場が作られているが、旅客施設の拡張計画案は、未だ最終化されていない。

インフラの問題に加えて、空港間競争の問題がある。今年の、マカオ空港利用客 370万人の半分以上は、台湾と中国間のトランジット需要である。殆どのマカオ訪問ツアーリストは、中国本土や香港からバスやフェリーでやって来る。従って、マカオ空港は、PRD 地域の、より大きな、効率的なライバル空港と、熾烈な旅客の取り合い競争に直面する事になる。既に幾つかの LCC は、香港やマカオをバイパスしている。しかし、彼等の、近い将来の、主要空港である上海や北京への乗り入れは、実現しないだろう。

マカオの支持者達は、楽観的な将来像を描いている。カジノ産業が異常な早さで成長し続ける限り、アジアの Las Vegas になる事を願っているマカオは、世界のツアーリスト達の、人気の高いデスティネーションとなるであろう、と彼等は予想している。マカオの 12億ドル(1,320億円)のカジノプロジェクトに投資している、Las Vegas Sands のオーナーの Sheldon Adelson は、今後7年~10年後には、マカオを訪れるツアーリストは、3,500万人~4,000万人に達するだろうと言っている。

channelnewsasia.com, 5/8/2005

#### **4. India's New Budget Airline Named After A Beer, Staffed By Models**

##### **インドで LCC が雨後の筍 客室乗務員にモデル登場**

インド LCC のパイオニア Air Deccan に次いで、ビール会社の Kingfisher が、Kingfisher Airlines を設立し、なんと客室乗務員には、モデルを採用している。そして、来年には、5社の新たな LCC が次々に誕生する予定。

Kingfisher Airlines のオーナー-Vijay Mallya は、真新しい航空機を使用して、各座席には個人 TV を装備し、ハイクオリティの機内エンタメと、超魅力的な十分に訓練を受けた客室乗務員（モデル）のサービスを、格安運賃で販売すると、新しい航空会社の抱負を語っている。 初便は、5月9日の、金融都市 Bombay = IT 都市 Bangalore 線。

Air Deccan、Kingfisher に次いで、Spice Air, Go Air, Indigo, Indus, Air One の 5 社の LCC が、今後数ヶ月の間に、営業を開始する。 インドの空は、俄に混雑して来る様だ。 航空大臣の Pradful Patel は、インドの航空需要は、内際合計で、各年 + 20% 増加し、5 年以内には 5,000 万人需要に到達すると予測している。 そして、インド航空会社のフリートは、この期間に、150 機から 400 機に増機するだろうと、インドの航空会社の見通しを述べている。 10 億人以上のインド人口の 1/4 が、年間 3 回 ~ 4 回航空機を利用しただけで、10 億座席が必要になるのだ。 それは、日間便数で 4 万便から 5 万便に換算される。 仮にインドの民間航空が毎年 + 30% 増加したとしても、1 万便の規模にしか到達しない。

1990 年代初めの経済規制緩和時に設立された民間航空会社の Jet Airways は、市場の 45% を押さえる迄に成長している。 Jet の競合相手は、国営の Air-India と、民間の Sahara の 2 社だ。 1 年半前に設立された Air Deccan は、大手航空会社に対抗し、格安運賃導入で、毎年、新規需要を掘り起こしている。 今週、同社は、1 セント以下の運賃を発表し、Kingfisher への対抗意識をむき出しにしている。



Vijay Mallya, Chairman of UB Group, flanked by a group of models at the launch of Kingfisher Airlines in Mumbai on Wednesday. — PTI

FT.com, 5/11/2005

## 5. Lastminute Shares Up 48% On Sabre Approach

### ラストミニット（英） セーバー買収へ

Sabre Holdings は、Lastminute（英）を買収し、欧州最大のオンライン旅行社となるチャンスを探している。 Lastminute 株価は、Sabre からの買収アプローチ発表後に、+48%上昇し、153p（306 円）をつけている。 この株価上昇の影響で、Lastminute の総資産価値は、£522m（1,044 億円）に急上昇している。

世界最大のトラベルグループ Cendant が、オンライン旅行社の Orbitz や Ebookers（英）を買収した昨年以降、Lastminute は、方々から買収企業として狙われていた。 Lastminute の株価は、ドットコムブームの 2000 年 3 月に 380p で上場後、一時は 555p まで上がったが、IT バブル崩壊後は、17p まで値を急落させていた事がある。

Lastminute は、1998 年に、Martha Lane Fox と Brent Hoberman（右）により設立された、ホリデーツアーとエアの間際オンライン販売旅行社。 現在、欧州 13 カ国と海外 2 社の合併企業を有している。 従業員数は 2,000 人。（日本ラストミニットには、近畿日本ツーリストが一部出資している。） 同社は、12 月 31 日に終了した第 1 四半期で、+80%の £264.4m（528 億円）の予約販売を記録している。



Brent Hoberman

Expedia を所有している IAC/InterActiveCorp は、Lastminute 買収にライバルビッドをして来るとは予想されていない。 現在 IAC は、\$1.85bn（2,035 億円）で買収した検索エンジンの Ask Jeeves の買収手続き最終化と、Expedia を別会社としてスピンオフさせる計画で手一杯となっているようだ。 Cendant も、既に英国のオンライン旅行社 ebookers を買収しているので、Lastminute には手を出さないだろう。

5 月 12 日付けの FT.com は、Sabre と Lastminute の両社が、基本的な買収契約に合意したと報道している。 買収価格は、現金で、£577m（1,154 億円）。 これには、Lastminute の負債 £69m と現金 £40m が含まれる。 従って、買収価格合計は、£606m（1,212

億円)となる。

買収手続きは7月中に完了する予定で、買収者は、Travelocity Europe となる。 Sabre は、欧州で名前が売れている Lastminute ブランドを使用する。 一部地域では、Travelocity ブランドを継続させる模様。 Hoberman が、買収後の会社の CEO になる。

Lastminute 買収の話に加えて、FT.com, 5/10/2005 は、Tui(独)が、Thomas Cook の Aldiana クラブブランドを含む欧州の買収先旅行社を探している、と報道している。 この他、Tui のライバル会社の Kuoni が、米国ユニットの Intrav の CEO を交代させて、買収による事業拡大を目論むと、この記事は言っている。

nytimes.com, 5/12/2005

## 6. Unions Threaten To Strike After Pension Default At United

### ユナイテッド航空 組合 スト突入示唆

5月11日、シカゴの破産裁判所は、先に UA と PBGC (年金給付保証公社) が合意した、UA 航空の確定給付年金基金 4 基金の閉鎖を承認した。 これにより、UA は、98 億ドル(1兆780億円)にも上る積み立て不足に陥っている基金を解散(terminate)し、PBGC が、その内 66 億ドル(7,260億円)を肩代わりすることになる。 積み立て不足額と PBGC 肩代わり額の差額 32 億ドル(3,520億円)は、それだけ、受給者の年金が削減されることを意味している。

黙っていないのは組合員達だ。 給与とベネフィットが大幅にカットされた上に、今度は年金までが 1/3 も減らされてしまう。 客室乗員組合(The Association of Flight Attendants)と整備工員組合(The International Association of Machinists and Aerospace workers = IAM)と手荷物ハンドラーの地上組合は、この措置に抗議して、スト突入を計画している。

UA は、ストは違法であると言っているが、このままでは収まりがつかないレベルまで、組合の怒りは激しくなっている。 確かに Railway Labor Act は、労働協約が存在する限り、組合員のストを禁止しているが、組合は、危険を冒してまでストに突入する勢いだ。 IAM の 94% がストに賛成し、客乗組合は、抜き打ちの断続的スト(全国1日もしくは、地方路線指定便)のストを検討してはいるが、今のところはオープンな態度を



とっている。 彼等は、経営陣の退陣を要求している。

遅れていた UA 第 1 四半期決算がヤット発表となった。  
 ( UA は、年金解散の破産裁判所の承認が得られるまで、決算発表を控えていた。)

それによると、UA は、 11 億ドル(1,210 億円)の損失を計上し、前年同期の \$459m ( 500 億円 ) の倍に損失を拡大させている。 この損失の中には、年金解散による一時的支出 \$ 433m と、機材導入取り消しに伴う費用 \$ 294 m が存在し、これらの特別費用を除くと、 \$ 302m の欠損に縮小する。



Members of the Association of Flight Attendants marched in Washington Tuesday to urge a judge to stop United from ending pension plans.

第 1 四半期の特記事項として、UA は、以下の 3 点を挙げている。

- 再建計画提出期限を、2005 年 7 月 1 日まで延期する事を、破産裁判所が承認した。
- 6 組合の内、4 組合が、会社の労務費削減案に合意した。( 組合員が批准した。)
- PBGC との 4 年金基金解散合意案を、破産裁判所が承認した。

以下に、第 1 四半期決算の概要を 1 表にまとめる。

	REV M\$	OPP M\$	NP M\$	ASM billion	Yield cent	L/F %	CASM cent	Fuel ¢ガロン	Cash balance	備 考
UA	3,915 (3,909)	-250 (-211)	-1,070 (-459)	34.2 (-1.9%)	10.83 (11.31)	78.2 (75.3)	10.12 (9.86)		\$2.3bn	56.3 千人(59.4) 466 機 (530)

## 7. 其の他の情報

### ● 中国メーデー連休 香港旅行不振 香港ディズニーランド9月開場が原因？

中国の休暇需要は、旧正月、メーデー、National Day (10月)の年3回の連休に大きな動きがあるが、今年のゴールデンウィークは、中国本土から香港への旅行は、予想されたほど伸びていない。 May Day 連休最初の6日間の香港訪問者数は、前年比+6.7%の294,883人にとどまった。 不振の原因は、9月の香港ディズニーランドの開場を控えて、旅行者が旅行資金を貯蓄に回したためと見られている。 先の旧正月(2月)の香港訪問者数は、+14%増加している。 香港インバウンドツアーオペ協会会長のCharles Ngは、香港ディズニーランド開場後は、大きな訪問者数が見込めると、楽観的な見通しを述べている。 彼は、今年末までに、560万人の入園者が予測され、その内の35%が中国からの訪問者となるだろうと言っている。 しかしながら、最近の中国北方都市からの訪問者の香港に於ける消費額は、昨年のHK\$7,000(94,850円)からHK\$5,500(74,525円)へ、20%以上低下している。 なお旧正月は、HK\$6,000(81,300円)の消費であった。(nytimes.com, 5/6/2005)

### ● ディズニーランド全世界で50周年を祝う

ディズニーランドは、5月5日から18ヶ月間、全世界の11のディズニーランドで、50周年を記念する、“Happiest Celebration on Earth”の祭事キャンペーンを繰り広げる。 Anaheim(50年前の1955年開場)のテーマパークには、ディズニーの幹部や、退職した旧従業員と、500人以上のメディアゲストが集い、50周年を祝った。



Outside the Sleeping Beauty Castle on Disneyland's opening day, July 17, 1955. Disneyland has begun a campaign to mark its 50th anniversary.

関連記事：

### 集客神話 復活期す オリエンタルランド、 前期決算 初の減収減益

東京ディズニーリゾートを運営するオリエンタルランド(OLC)が10年ぶりの社長交代に踏み切る。国内テーマパーク業界で「独り勝ち」と評されてきた OLC も成長の踊り場に差し掛かっており、初の生え抜き社長となる福島祥朗専務(58)の起用で集客力の回復を目指す。・・・(昨年度の入園者数は2,502万人。入園者1人当たり売上高は9,180円と67円減った。)・・・

OLCが九日発表した2005年3月期の連結決算は経常利益が308億円と、前の期に比べ10%減った。売上高も2%減で、00年3月期から連結決算を開示して以来、初の減収減益となった。・・・

強力なライバルの登場も脅威になる。9月12日に開業する香港ディズニーランドで、東京に続きアジアで二番目のディズニーランドになる。OLCの経営陣は、「うちはリピーター率が高いし、影響は殆どない」と口をそろえるが、地方からの顧客が流れるのは確実。「時期によっては、地方からだ東京より香港に行くほうが安くツアーを組めるケースも出てくる」(旅行業界関係者)との見方もある。・・・(日経, 5/10/2005)



### ディズニー元取締役ら、時期 CEO 巡り経営陣提訴

米ウォルト・ディズニーの取締役会が、次期最高経営責任者(CEO)選びで、株主に虚偽の説明をしたとして、創業者の甥で元取締役のロイ・ディズニー氏らは九日、同社とマイケル・アイズナーCEO(上右)ら現経営陣を、デラウェア州の裁判所に訴えた。・・・(日経夕, 5/10/2005)

### ● 空飛ぶ絨毯 エミレーツ航空

AF-KLのボス Jean-Cyril Spinetta は、ドバイの Emirates の積極的な長距離機材購入に、神経を尖らせている。彼は、Emirates が本当にドバイ政府の補助金を受け取っていないか、帳簿を調べて見たいと公言している。Emirates が、AZ 航空と戦略的・財務的な提携関係を模索している事も、彼を悩ませているもう1つの理由。イタリア政府は、AZ への補助金支給減少に繋がる航空会社間の提携に、大きな期待を寄せている。(現在、イ政府は、欧州連合からの補助金支給に関する許可を待っている。) Emirates が出て来るのであれば、一度は提携話を断った、AF-KL チームが、AZ との縁組に再登場するのかも知れない。(FT.com, 5/6/2005)

### ● エミレーツ航空 五つ星ホテル建設

Emirates は、ドバイに五つ星の豪華ホテル(建設費\$218m 240億円)を建設する。70階建ての560室+112スイート+1プレジデンシャルスイートの豪華ホテル。Emirates が投資するホテルは、Le Meridien Al Aqah Beach(218室)に次いで2番目のホテル。ド

バイには、海外から、年間 540 万人の人達が訪れている。( asiatraveltips.com , 5/9/2005 )

#### ● エミレーツ航空 A350 長距離機 50 機導入

Emirates は、A350 型機を 50 機導入する計画を、6 月のパリエアーショーで正式に発表すると言われている。これは、総額 46 億ユーロ( 6,000 億円 )の商談。A350 は B787 型機に対抗して、A330 をベースに開発予定の長距離機。エアバスは、6 月までに、50 機の初期販売を目標としている。既に、スペインの Air Europe が 10 機を購入している。米国は、A350 に対する、政府補助金を停止するよう、欧州連合と協議中であるが、協議が進展しない場合は、WTO に提訴する構えを崩していない。



( channelnewsasia.com, 5/9/2005 )

The Airbus A330 with the Emirates airline logo

#### ● ノースウエスト B787 型機 18 機発注

NW 航空は、ボーイング長距離機材 B787 型機を 18 機( オプション 50 機 )を発注した。価格は、カタログ価格で 22 億ドル( 2,420 億円 )。NW の発注は、CO の 10 機に次ぐ発注なるも、ライン投入は、NW の 2008 年 8 月が、CO の 2009 年より早くなる。NW はビジネスクラス 36 席、コーチクラス 296 席のコンフィギュレーションを予定している。(DTW, 5/6/2005)

#### ● インデペンデンス航空 第 2 四半期利益計上を予測

Independence Air の親会社 FLYi は、第 2 四半期には、バレル 47 ドル燃油を前提にすれば、十分、黒字に転換できると言っている。第 1 四半期決算は、\$105m (115 億円) の欠損。JP Morgan のアナリスト Jamie Baker は、FLYi のキャッシュポジションは、年末には、500 万ドル(5.5 億円)まで低下し、オペレーション停止に追い込まれるだろうと予想している。FLYi は、3 月末時点での手持ち現金\$107m ( 117 億円 )を保有している。6 月と 7 月にブレイクイーブンに達し、年末には\$75m ( 82 億円 )のキャッシュの確保が可能と、楽観的な見通しを述べている。リジョナルジェット機の 50 機近くの減機と、新しいエアバス機材の西海岸線 L/F の上昇が、収支の好転に貢献すると述べている。同社は、社員数を、1 年間で、4,700 人から 3,750 人に削減している。(DTW, 5/6/2005)

#### ● サウスウエスト フィラデルフィア乗り入れ 1 周年

Southwest 航空は、2004 年 5 月 9 日に、6 路線・毎日 14 便で PHL 乗り入れを開始以来、1 年間で、同空港の事業計画を、17 路線・毎日 46 便の規模にまで急成長させている。この 1 年間で、以下のような、顕著な、運賃低下と需要増加の、所謂 “ Southwest 効果 ”

が発生している。

乗り入れ開始以来、PHL 空港発着総需要は、略+30%増加している。

PHL マーケットシェアを 10%確保した。

需要の増加と運賃低下の状況は下表の通り。 (southwest.com, 5/9/2005)

	Traffic	Fare	備考
Providence	859% (9 万人以上増)	\$259 \$44 ( 83%)	
Manchester, N.H.	828% (7.5 万人以上増)	\$245 \$43 ( 82%)	
Chicago Midway	13.7%	46%	2004 3Q データ
Chicago O'Hare	28%	44%	WN は就航していない 他社需要増に貢献
Raleigh-Durham, N.C.	3 桁増加	74%	

#### ● ジェットブルー航空 定時性大幅悪化

2003 年と 2004 年に、定時性で第 3 位の高品質を誇っていた jetBlue 航空の、昨年年末から今年 3 月にかけての、定時性が大きく悪化している。これは、同社の基地空港である JFK の悪天候によるところが大きい。(jetBlue の JFK 発着便数は 3,171 到着便を数え、2 位のキャリアの倍以上の運航規模を持っている。 - 3 月実績 - )

	15 分以内到着率	定時性順位
12 月	67.5%	19 社中 16 位
1 月	63.1%	17 位
2 月	71.8%	17 位
3 月	63.3%	19 位 (最下位)

(DTW, 5/7/2005)

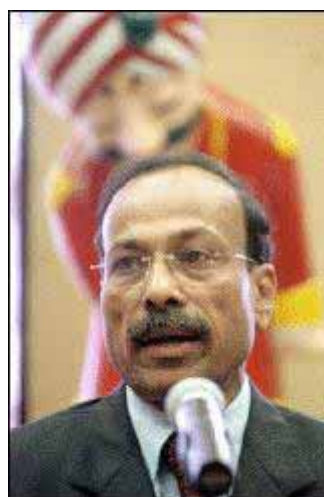
#### ● 米国パッドイメージ、数十億ドルのインバウンド観光収入逸失させている

米国の旅行産業のリーダー達は、政府の政策立案者に対して、反米感情と連邦政府の官僚的なビザ政策や 9-11 以降の厳格なセキュリティー対策が、米国のインバウンド需要を減少させていると警告している。そして、これ等の問題への取り組みは、米国にとって喫緊の重要な経済問題である、と訴えている。 昨年の米入国外客は、+12%増の 4,611 万人。そして、彼等から、+17%増の \$93.7bn (1 兆 300 億円) の収入を得ている。しかし、ドル安がある事を勘案すると、この数値は、もっと増加して良い筈であると、旅行業界の人達は言っている。 実際、インバウンド外客総需要に占める米国シェアは、1992 年から 38%も低下している。世界の外客総需要は、2000 年から +2%増加して 7 億 7 千万人に増加しているが、米国訪問外客は、500 万人減少している。 ツ

ーリズムの主要な経済団体である Travel Industry Association of America は、連邦政府が幾つかの国に要求している、10月26日迄のバイオメトリック旅券の発行は、非現実的な計画なので、延期させるべきだと主張している。また、一部の米国入国外客に写真と指紋の提出を求めている US-Visit プログラム(今年末迄に、陸続きの国境検問所と入国港/空港で開始される)に関する問題解決を求めている。(FT.com, 5/8/2005)

#### ● AI 航空 ボーイング大型商談 対米貿易赤字対策 イ政府高官明かす

インド国営航空の略 70 億ドル (7,700 億円) に上るボーイング機 50 機の大型商談の裏には、拡大する対米貿易赤字対策が秘められている、と或るイ政府高官の 1 人が打ち明けた。米イ間貿易は、インド IT 業界へのアウトソーシングなどにより、米側の赤字幅が拡大し続けており、イ政府は、米政府からこの是正を強く求められていた。米国からインドへの輸出は 61 億ドルに対して、インドからの輸入は 156 億ドルに達しており、過去 10 年間で米国の対イ貿易赤字は 3 倍に拡大している。インドは、この是正の方策として、エアバスとボーイングの両社へ発注する当初案を退けて、米国製航空機の購入を決定した、とこの高官は匿名を条件に語っている。エアバスは、機材発注に不正が介在していなかったかの調査を、インド当局に依頼した。駐インド仏大使の Dominique Girard は、先週、「ボーイング機購入決定に際しては、商業以外の要因が働いている」と発言したと報道されている。この発言に対して、インドの Natwar Singh external affairs minister は、「友好国に対して行うべき発言ではない」と強く反発している。AI 社長 V. Thulasidas (右) も、「機材購入を決定するのは買い手であり、売り手ではない」と反論している。(FT.com, 5/8/2005)



Air India managing director V. Thulasidas

#### ● センダン CEO 旅行産業に“規模”の影響力行使を訴える 米 Pow Wow で

Cendant CEO Henry Silverman は、先週 NYC で開催された第 37 回の International Pow Wow で、以下の骨子の講演を行った。

世界の旅行産業は 1 兆ドル (110 兆円) に達している。

我々旅行産業の言動は、もっと注目されてしかるべきである。

大きな産業として成長している旅行産業の、規模をバックにした影響力を行使しない手はない。

税関と入国審査は、注意深く実施する必要があるが、スマートに実施するべきである。米国訪問客は、我々のお客様である。

Pow Wow には、外国から 1,300 のバイヤー達と、米国からのデレゲート 3,300 人が参集

し、1,160 のブースが設営された。バイヤーとセラーの商談は、事前予約された 20 分間の商談が、延べ 35,000 回実施された。(DTW, 5/9/2005)

### ● 民間航空機に対するミサイル攻撃対策 依然検討中

2003 年 12 月に、DHL エアバス貨物機が、バグダッド空港上空で、イラク反乱分子の携行対空ミサイル (manpads = man-portable air defense missiles 右) で片翼を撃たれた事件が発生した。(この貨物機は、何とか空港に帰還している) それより 1 年前には、ケニアのモンバサ空港を離陸した、イスラエル人搭乗の Akira Airlines B757 が、2 発の manpads に狙われている。(命中しなかった) ミサイルの赤外線誘導装置を攪乱するフレアーやレーザージャマー (軍用機用



に開発)の民間機への応用が検討されている。米シンクタンクの Rand Corporation は、これらの機器の、全米 6,800 機の民間航空機への装着は、110 億ドル (1 兆 2,100 億円) が

必要で、経費効率から見て現実的な解決策とはならないと結論つけている。イスラエルでは、El AL 全機へ、フレアーベースのデコイシステムの装着 (1 機 \$1m 1.1 億円) が開始されている。また、同国では、manpads に最も有効と見られているレーザージャマー (laser jammer) の開発が 2 年かけて進行中。

米国 DHS (Department Homeland Security) は BAE Systems と Northrop Grumman と契約し、それぞれに、\$45m (50 億円) かけて、軍用の manpads 防御装置の民間への応用を検討させている。Northrop は、Federal Express と Northwest 航空を使用して、実機によるテストを、今年の下期から開始する。開発を委嘱された両社は、本格的生産を開始すれば、1 システム \$1m 以下に押さえることが可能であると言っている。問題は、運営コストで、装置装着による機体の重量増加 (燃料の増加) やシステムの維持管理に、1 システム当たり年間 30 万ドル (3,300 万円) が掛かる見通しだ。機体への防御システム搭載よりも、シッカリした manpads の拡散防止策を打ち立てるべきだという意見も、一方で存在する。(FT.com, 5/9/2005)

### ● タイガー (シ LCC) マニラ線増便

シンガポールノ LCC Tiger Airways は、4 月 5 日に開設したばかりの、フィリピン Clark Field, Pampanga の Diosdado Macapagal International Airport への便数を、6 月 6 日から、週 3 便から 5 便に増便する。これは、現地の Clark Development Corporation よりの要請に応えた増便。(asiatraveltips.com, 5/9/2005)

### ● エアバス CEO 決まらず 当面空席か?



エアバスの CEO 人事が決まらない。5 月 11 日に、Noel

Gorgeared (仏) が、エアバス CEO から、親会社の EADS の共同 CEO に昇任する予定であるが、彼の後任人事が決まらない。(EADS は、フランス政府と Lazard 30%、ドイツの DaimlerChrysler 30% の、仏独両国が並び筆頭株主で、もう 1 人の CEO は、独人の Tom Ender が選ばれている) エアバス CEO には、ドイツは独人を、フランスは仏人の CEO を希望しており、お互いに譲らない。エアバスは、当面は、ボーイングと同様、CEO 不在の舵取りとなるようだ。(ボーイングは、社内女性問題で CEO が辞任に追い込まれたばかり) フランスのエアバスに対する思い入れと誇りは相当強いものがあり、独人に決まる可能性を残している、エアバス CEO 人事を、5 月 29 日のフランスの欧州憲章国民投票後にすることを希望している。そして、この人事が、国民選挙に影響するのを回避したがつている。(FT.com, 5/9/2005)

12 日の FT.com は、「結局、EADS の取締役会 (5 月 12 日) は、新共同 CEO の就任は決定されなかった」と、報道している。フランス国民投票日後の 6 月 1 日まで、人事の決定を延期する。それまでの間は、現行の経営陣が居残ることになった。現エアバス CEO の Noel Gorgeared (仏、次期 EADS 共同 CEO の 1 人) の、エアバスに関する意思決定を独り占めにしたい野望が、ドイツの反感を買っているようだ。(FT.com, 5/12/2005)

#### ● 香港エクスプレス航空 香港 = 中国本土 5 路線に就航

Hong Kong Express Airways が、香港当局より、香港 = 中国 5 都市 (広東、杭州、重慶、南京、寧波) の路線権を獲得した。ブラジル製の Embraer 170 (76 席) を 7 月末 (1 機) 9 月初め (1 機) を受領し、9 月初旬より広東、10 月初めより杭州路線を開設する。(asiatraveltips.com, 5/10/2005)

#### ● バケーションドットコム IT 教育センター開設

傘下に 6,000 の会員旅行社を持つ Vacation.com は、バージニア州 Alexandria の本社に、コンソーシアムの電子マーケティングと販売ツールの、トレーニングセンター Technology Learning Center (20 ブース) を設立した。会員旅行社のエージェントに対して、コンピューターの使用方法からを、マンツーマンで、有料で、教育する。Vacation.com は、Amadeus が保有する米国最大の旅行社コンソーシアム。Vacation.com は、Travelocity や Expedia に対抗できる消費者 Web サイトを保有する、長期計画を有している。(DTW, 5/10/2005)

#### ● 米務省 RFID 旅券マイナー修正

米務省は、RFID 旅券 (旅券に RFID を貼り付けて、そのチップに個人情報格納する) 計画をマイナー修正する。ビジネス旅行者団体から、この旅券を携行する米国民



籍ビジネス旅行者が、海外で容易に識別（標的に）されてしまう、（RFIDを読み取られてしまう）と言う強いクレームを受けて、チップを変更して、IC格納情報の暗号化を実施する事になった。ビジネス旅行者団体は、完全な安全確認をしないと、何とも評価しようがないと言っている。(nytimes.com, 5/10/2005)

#### ● ワシントン レーガンナショナル空港 ジェネラル航空機の発着再開

ホワイトハウスと国会議事堂に最も近いReagan National Airportは、安全確保の為に9-11以降禁止されていた、general aviation機の発着再開を決定した。5月11日に、プライベート軽飛行機の誤進入騒ぎがあったばかりで、何ともタイミングの悪い再開決定となってしまった。(nytimes.com, 5/10/2005)

#### ● トラベロシティー ショウチケット展開拡大

Travelocityが、昨年8月に買収したLas VegasのShowTicket.comキオスクを、新たにCeasarsのForum Shopsにもオープンする。Travelocityは、ShowTickets.comの全てのブースを模様替えし、Travelocity社として旅行ブローカーをアサインし、Las Vegasの旅行案内を提供する。SowTicket.comは、Flamingo, Harrah's, Hoover Dam, McCarran Airport等を含む、20以上のロケーションにブースを展開している。(DTW, 5/10/2005)

#### ● シンガポール政府系投資団テマセク ベトナム パシフィック航空出資か

シンガポールの投資会社Temasekは、ベトナム第2位のPacific Airlines（国営）の30%株式を、\$50m（55億円）で購入する交渉を開始している。昨年、Pacificは、\$12.6m（13.8億円）の累損を抱えている。(channelnewsasia.com, 5/11/2005)

#### ● 中国南方航空 ボーイング機 45機購入

航空機保有数で中国第1位の中国南方航空は、ボーイングから45機の機材を購入する。リストプライス換算で\$2.6bn（2,860億円）の商談。機種別にはB737-700型機12機、B737-800型機33機で、内15機のB737-800型機は、子会社のアモイ航空用。中国は、次の20年間で、2,800機のフリートを保有すると見られている。先月、東方航空と深川航空は、エアバスから10機のA319/A320型機を購入している。また中国南方航空は、スーパージャンボA380型機を5機発注している。ボーイングは、米国に次いで世界で第2番目の民間航空機市場となると期待されている中国市場の、62%シェアを、現在有している。(channelnewsasia.com, 5/11/2005)

#### ● アムトラック のろまな“アセラ特急”

ブレーキディスクにヒビが見つかったために一時運休したAmtrakのAcela特急は、諸外国の高速鉄道と比べて、全く速くない特急列車である。各国高速鉄道のスピード比

較を下表に記す。

	区 間	時速	備 考
Acela	NYC = WAS	216km	最適スピードは普通より時速 16km 速いだけ
Acela	NYC = BOS	240km	short stretch 最高速度
AVE(スペイン)	MAD=Saragossa	298km	
TGV(フランス)	Long stretch	298km	
新幹線	広島 = 小倉	262km	



(nytimes.com, 5/10,2005)

Amtrak's Acela trains, now at a dead stop, weren't the speediest even when they were running.

### ● シンガポール航空 利益新記録

SQ 航空が S\$1.4bn (900 億円) の史上最高利益を計上した。前年比は +63.6%。(SARS の影響がある) 収入は +23.1% 増の S\$12bn (7,680 億円)。営業費用は、コスト管理が奏効し +17.3%にとどまった。

豪州 = 米国路線について、SQ は、路線権益が確保されるかどうかの話ではなく、“何時”、“どの位のレベル”の、路線権が確保されるかと言う問題である、と言っている。(今月末に、豪州国会は、シンガポールとの2国間協定を審議する手はずになっている。) SQ は、SYD=LAX 線の年内開始を、依然として諦めていない。



A380 の導入は、試験飛行やサーティフィケーションプログラムの関係で、2006 年第2四半期から、第4四半期に遅れると言っている。

(channelnewsasia.com, 5/11/2005)

(SQ A380 1号機 仏エアバス工場)

### ● エアアジア (マ) A320 型機 60 機ファイナンスで銀行団と交渉中

マレーシアの AirAsia (アジア最大 LCC) は、A320 型機 60 機 (オプション 40 機) の購入費 37 億ドル(4,000 億円)の資金調達のために、Royal Bank of Scotland, Citigroup Inc., Deutsche Bank を含む銀行と協議に入っている。この機材導入は、現有の B737-300 型機 28 機をリプレイスするもの。新機材は、今年後半から 2011 年にかけて導入される。AirAsia は、12 月までの四半期で、純益 44.3m リンギ (12.5 億円) の利益を計上している。これは前四半期比 +44.3%。収入は +55% 増の 178.6m リンギ (50.2 億円)。(channelnewsasia.com, 5/10/2005)

- **中国政府観光局が 1.6 億ドルの宣伝キャンペーンを NYC で展開する**

China National Tourist Office (CNTO) は、NYC の Grand Central Station で 6 月一杯ポスターを貼りめぐらす、史上最大のキャンペーンを開始する。この他、George Washington Bridge の近くと Lincoln Tunnel のビルボード、それに、USA Today の 20 週連続のビジットチャイナ宣伝を展開する。これにかかる宣伝費は、1.6 億ドル (1.7 億円) にのぼる。(DTW, 5/11/2005)

- **地中海クラブ旅行社サイト、予約エンジン装備**

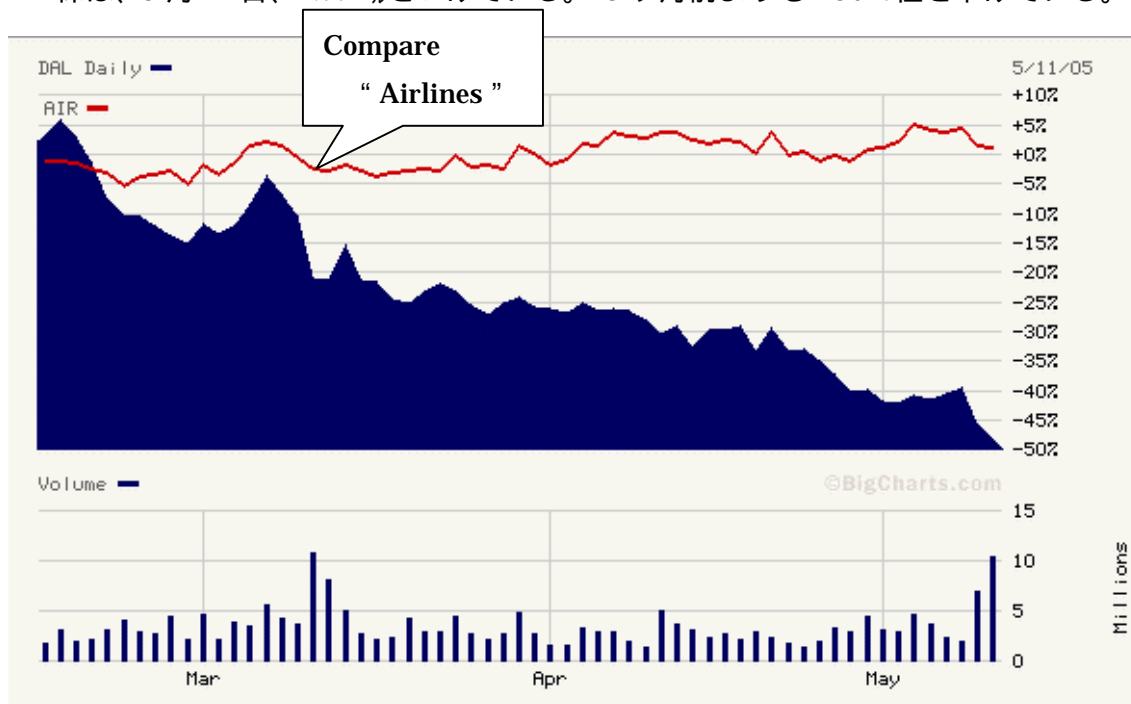
Club Med は、5 月 15 日から、旅行社用のサイト [www.clubmedta.com](http://www.clubmedta.com) に、予約エンジンを装備し、ライブのインベントリーとプロモーションプライシングへのアクセスを可能とし、エアー込みのパッケージ販売を強化する。(DTW, 5/11/2005)

- **デルタ航空 チャプター11 企業となるのか?**

証券取引委員会へ提出した 5 月 10 日の資料の中で、DL 航空は、昨年発表した 50 億ドル(5,500 億円)のコスト削減計画では、最早会社再建は困難となっている、と報告している。各種の追加再建策実行の保証が出来ないし、実行できたとしても、会社を浮上させるには十分でないかも知れないと、打ち明けている。昨年 9 月以来、DL は、Dallas 閉鎖、Atlanta ハブ再構築、人員削減、給与カット、運賃構造単純化、新規融資獲得に努力して来たが、収支の建て直しに成功していない。今年には大幅な欠損が予想され、事業収入からだけでは、この期間中に必要となる、全ての資金の調達を賄い切れない恐れがある、と DL は言っている。年金積み立て不足は 53 億ドルに達しており、DL は、政府に対して、積み立て不足解消期間を、5 年から 25 年に延ばすことを陳情している。

資金を確保できるか否かは、燃油、イーールド、Visa/MasterCard のプロセッシング契約(注)に大きく左右されるようだ。(注)クレジット会社は、現行を大幅に上回るキャッシュの預り金を要求すると見られている。契約更改は 8 月。資金繰りが困難になる場合は、Chapter 11 による救済を求める事になるかも知れない、と DL は言っている。(nytimes.com, 5/10/2005 など)

DL 株は、5月12日、2.77ドルをつけている。3ヶ月前よりも50%値を下げている。



## 編集後記

インドで、雨後の筍の如く、多くのLCCが誕生すると言う。  
北アジアでは、日本を除いて、LCCの発達が遅れていると言っている。

この記事を読んでいて、“日本を除いて”と言う表現は、本当に正しいのかと疑問に思った次第である。

確かに、自身は低コストキャリアだと思っている、航空会社が多く存在する。航空会社内航空会社を含めて。

確かに一部の運航コスト(特に乗務員人件費)は低コストであるけれども、多くは、LCC

と言えるほど、全体費用の低コスト化が出来ていないのではなかろうか。 飛行場の着陸費などの公租公課が高いからだ。

安い着陸料と、新規参入にアベイラブルな、スロットが確保できる飛行場が存在しない限り、LCC は育たないのではなかろうか。

つまり、飛行場などのインフラが整備されていない限り、LCC は育たないのではなかろうか。 LCC が育たないばかりか、拡大するアジアの LCC 路線網からも、ウツカリすると外されてしまうことにもなりかねない。

待てよ、しかし 70 以上の、比較的新しい、良く整備された地方空港が存在するじゃないか。 航空協定の問題さえ解決できれば、日本も、アジアの LCC の大きな目的地に加えられてもおかしくない。

アジアの人達が飛行機に乗り始めている。

(シンガポールは、需要のジェネレーティングポイントでは全くないにも拘わらず、自国内に 3 社も LCC を設立させ、チャンギ空港には LCC 専用ターミナルまでも建設している。)

(シンガポールと豪州間でオープンスカイの協議が行われている。 SQ が、SYD = LAX 線を、出来れば年内にも開始すると言う。)

(インドは、英米とオープンスカイに準じた協定を締結した。)

(インドでは、雨後の筍の如く、多くの LCC が誕生しつつある。)

(インドの航空会社は、同国経済好調で、今年度 200 機以上の機材購入契約を締結すると見られている。)

(中国でさえ、LCC 運営を、一部の地域で許可しようとしている。)

(中国に入境した観光客が 1 億 900 万人と、初めて 1 億人を超えた。 イタリアを抜き世界第 4 位になる見通し。 観光収入は 6,840 億元 8 兆 8,920 億円と過去最高、GDP の 5.01% を占めた。)

(マカオは、第 2 のラスベガスにナランと欲している。 そして LCC ハブ空港化を試みている。)

(アジア最大の LCC であるマレーシアの AirAsia が、エアバス機材を 100 機購入する。)

(タイなどが、ASEAN 加盟国の共同経営航空会社設立構想をぶち上げている。)

(ASEAN は、域内オープンスカイ協定を、10年以内に締結する。)

以上の殆どは、直接的或いは間接的に、今週号の記事からの抜粋である。 アジアの航空が、大きな転換点を迎えているようだ。 (H.U.)

TD 勉強会 情報 167 ( 以 上 )